取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | 介護給付の適正化 |

|  |
| --- |
| 現状と課題 |
| 在宅サービスの受給者1人あたり給付月額について、全国及び県平均と比較して、利用が低い傾向にある。しかし、短期入所生活介護は、全国平均、県平均と比較して低いが、対計画比からすると、多くなっている。  在宅サービスより、施設サービスの偏重がある。認定有効期間をおおむね半数を超える短期入所生活介護の利用が適切なものであるかの検証を行いながら、施設・居住系サービスを利用しているものを在宅サービスにつなげていくことが必要と思われる。 |
| 第７期における具体的な取組 |
| ●適正化事業の推進  　①要介護認定の適正化　②ケアプラン点検　③住宅改修等の点検　④医療情報との突合・縦覧点検　⑤介護給付の適正化の5事業に取り組む。 |
| 目標（事業内容、指標等） |
| 平成30年度　　　　令和元年度　　　令和2年度   1. 要介護認定の適正化　　　　　　全件　　　　　　　全件　　　　　　　全件 2. ケアプラン点検　　　　　　　　80件　　　　　　 80件　　　　　　　80件 3. 住宅改修等の点検　　　　　　　全件　　　　　　　全件　　　　　　　全件 4. 医療情報との突合・縦覧点検　　0件　　　　　　 　0件　　　　　　　0件 5. 介護給付の適正化　　　　　　利用者全員　　　　利用者全員　　　利用者全員 |
| 目標の評価方法 |
| * 時点   □中間見直しあり  ■実績評価のみ   * 評価の方法   年間における実施回数をカウントする。 |

取組と目標に対する自己評価シート

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 令和２年度 |

|  |
| --- |
| 前期（中間見直し） |
| 実施内容 |
|  |
| 自己評価結果 |
|  |
| 課題と対応策 |
|  |

|  |
| --- |
| 後期（実績評価） |
| 実施内容 |
| 1. 要介護認定の適正化   認定調査の結果について、職員が点検を行い適正な認定審査会を実施した。  全件   1. ケアプラン点検   ケアプランの記載内容を提出してもらい、職員及び委託事業者が点検を行った。  474件   1. 住宅改修等の点検   施工前に工事見積書、図面の点検を行い、施行後は、竣工写真を確認点検した。  全件　　※施工前点検は、福祉住環境コーディネーター2級資格取得者による確認を行った。   1. 医療情報との突合・縦覧点検   国保連合会への委託により行った。   1. 介護給付の適正化   介護給付費通知書を令和3年3月に利用者へ送付した。  　　利用者全員 |
| 自己評価結果 |
| 評価【〇】 |
| 課題と対応策 |
| ・医療情報との突合・縦覧点検について、国保連合会へ委託しているが、送付される抽出情報の点検は行っているものの、事業者等への直接の実態把握に割く余裕がない状況である。今後は、職員のスキル向上を図り、できるところから対応していく。 |